

ほっとたいむ

第33号



本年もどうぞよろしくお願いいたします

早速ですが、皆さんは赤ちゃんの泣き声を聞くとどんな気分になりますか？

赤ちゃんの泣き声は母親の脳だけではなく、子育てにかかわった他の人の脳をも活性化するのだそうです。

以前 NHK スペシャルで放映された「ママたちが非常事態！？」という番組の中で、「ヒトの子育ては 700 万年もの長い年月をかけて共同で行うようになった」という話がありました。ヒトは他者と一緒に助け合って子育てしながら、子育てを学習し獲得して親になっていく生き物なのですね。

それなのに最近の子育てはその正反対で、閉ざされた家の中で「ワンオペ」という言葉の通り、親が 1 人で孤軍奮闘しているケースが多くみられます。自然に伝えられるはずの子育ての知恵も聞けず、愚痴や悩みを聞いてくれる相手もなく、体調の悪い時にちょっと預けて休むこともできない、という苦しい状況で子育てしているママたちは、私たちが想像するよりはるかに多いようです。

出産直後はホルモンの変化で特に不安定になりやすく、それは科学的には周りの人を頼るなど他者とつながりやすくなるための仕組みだそうです。そのような仕組みを理解して、子育て家庭と地域がつながっていいですね。ファミリーサポートの活動もそのつながりの一つです。地域の人と人とのつながりで、皆が子育てにかかわることができます。一人ひとりの活動は小さいかもしれませんが、地域全体でみれば大きな活動となります。利用していた方がサポート会員や両方会員となり、今度は支えて下さる循環も少しずつ生まれています。まわりの人々のあたたかな思いで、子育てしやすい地域が広がることを願っています。

参考文献「ママたちが非常事態！？」NHKスペシャル取材班 ポプラ社 (科学的な立ち位置から育児問題を考えています)

なすしおばら市 ファミリーサポートセンター

〒329-2754 那須塩原市西大和 6-2

TEL/FAX 0287-47-6252

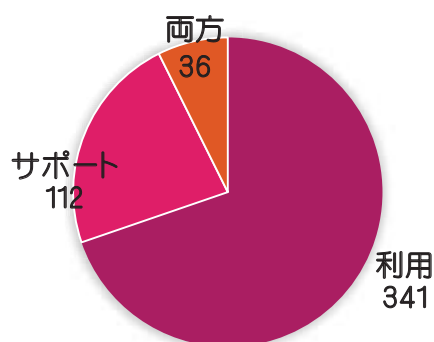
開所時間 月～金 8:00～18:00

土 8:00～12:00

E-mail: hotnet.famisapo@eco.ocn.ne.jp

HP アドレス <http://hotnetfamisapo.com>

那須塩原市ファミリーサポートセンターは、「NPO法人子育てほっとねっと」が市の委託を受けて運営しています



R1 年 12 月 31 日現在の会員数 489 人

同居人家族からの 脱出！

赤ちゃんは本来、テレビを見なくても遊びを作り出す力をもっています。でも小さいうちから見せられていると、子どもに本来備わっている考える力、働きかける力が育たずに、自分で遊べなくなってしまう場合もあります。では、テレビを消して何をすればいいんでしょう。



かかわってこそ家族

家族はいても同居人



かかわりのある家族



子どもにとって世界中の誰よりも大切なパパとママ。

これほどに求め、愛してくれる人たちはほかにいません。一日のうち、ほんのわずかな時間でも、子どもの目を見てかかわる時間を作ってみませんか。



家の中での 遊びのヒント

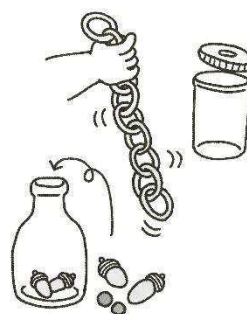
家に遊びのヒントを
置きましょう。

1,2 歳なら

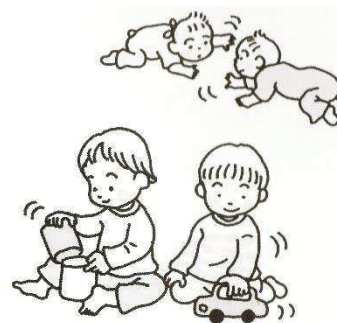
- ①体を動かすこと自体が遊びです ②手を使える遊びの材料を準備 ③友達を家に呼ぼう



脳に酸素をぐんぐんぐん。



手を使えるものを考えてみよう。



友達は一人数でも十分。
いっしょにいるだけでいい時期。

子どもに「外で遊んでおいで」と言えばよかった昔の子育て。本当にうらやましいですね。家の中で遊ぶ時間が多現代の子育ては、親の工夫が必要です。

3 歳以上なら

- ①図鑑や地図、工作や遊びの本などを準備 ②自分で工夫できる材料を準備 ③夕食準備の時間は音楽をかけて



サロンの報告

11月は・・・つどいの
広場『ま〜る』の高根沢
明子さんに、簡単な工作



&楽しい歌遊びを二つおしえて頂きました。どちらも簡単で、とても面白い工作でした。画用紙や紙皿を使い、色紙を貼ったり絵を描いたり。歌をうたいながら動かすと、お皿の裏からアンパンマンが



登場したり、折った画用紙の中から動物が飛び出てきたり。保育園で試した方から『大好評だった!』と感想を頂きました。

11月5日ファミサポ事務所にて

12月は・・・黒磯に新しくオープンした町中交流センター『くるる』にて、元・利用会員のFさんを



講師に迎え、今話題のハーバリウム作りを楽しみました。ハーバリウムは、もともと「植物標本研究所」などの意味があるそうですが、最近はプリザーブドフラワー等を専用オイルと一緒に瓶詰めしたものが、インテリア雑貨として人気ですね。



茶話会では最近のサポートについて皆さんの話を伺い、円滑な援助ができるように情報交換をしました。

12月3日くるるにて

交流会報告



今年初めての交流会は【那須友の会】の白石さんを講師にお迎えして、肉まんを作りました。シンプルな材料で作れるので子どもたちのおやつにも良いですね。混ぜたりこねたりするのは子どもも大好き！是非家でも作ってみて下さい。レシピが欲しい方はセンター迄ご連絡下さい♪

調理中、子どもたちは別室で託児。出来上がった肉まんはみんなで一緒に食べました(^^)／



1月16日西那須野公民館にて

お知らせ①

ヒヤリハット報告書提出のお願い

春号でもお願いしましたが、サポート中あるいは自分の子どものことで『事故やケガにはならなかったけどヒヤッとしたこと』をおしえてください。たくさんのデータを集めて対策を考えたり、他の会員にもお知らせしたりしていきたいと思ひます。今回は期間限定で3月31日までの募集です。郵送・FAX以外でも2月の養成講座や3月のステップアップ研修、年度末の会員更新の際にも提出していただけます。3件以上提出された方に、お花の苗をプレゼント！たくさんの報告お待ちしております。

お知らせ②

サポート・両方会員の皆さまへお願い

今後【サポート活動報告書】が、領収書代わりになる新しい書式に順次変わります。サポート終了後、報告書の2枚目と3枚目のサイン欄に押印をしていただく必要があります(1枚目は自分の控えなので必要ありません)。新しい様式の【サポート活動報告書】をお渡しする際に改めてご説明しますが、お手持ちの古い様式のもの、しばらくの間使っていただけます。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

これからの行事

① サポート会員養成講座 1コマだけの受講もOKです！

広報なすしおばら 1/5 号にも掲載 申込〆切 1/31 (金)

2/13 (木)	① 9:00~12:15 市の子育て支援について 子どもの発達と事故予防 東那須野公民館	② 13:00~16:00 栄養と食生活 保育の心・遊び 東那須野公民館
2/20 (木)	③ 9:00~12:00 普通救命講習Ⅲ(小児) AEDの使い方 黒磯消防署	④ 13:00~15:50 ファミサポの仕組み サポート会員の心構え 厚崎公民館

秋号でもお知らせしましたが、サポート/両方会員は事故予防と救命講習の研修が5年に1度必須になりました。事故予防に関しては2月13日の養成講座①を受講して下さい。救命講習に関しては2月20日の養成講座③か、3月7日のステップアップ研修で受講して下さい。救命講習を別の機会に受講された方は、受講年月日をセンターまでお知らせください。今回どうしてもご都合が合わない場合は、次回(9月予定)の養成講座での受講をお願い致します。

いざという時のために！

② ステップアップ研修

普通救命講習Ⅲ (小児)・AEDの使い方

3/7 (土) 9時~12時 西那須野消防署 申込〆切 2/21

③ 利用会員・両方会員・サポート会員の交流会

子どもと一緒に楽しめる！うた遊び&情報交換会

4月15日(水) 10時~12時

厚崎公民館 和室

申込締め切り 4/8

講師はつどいの広場ま〜るの高根澤さんです。昨年11月のサロンで大好評でした♪



お知らせ③

今年度、サポート会員が送迎サポート中に当て逃げに遭うという事故がありました。

夕方サポート会員が園舎に子どもを迎えに行っている間に、保育施設の駐車場で別の車がサポート会員の車に接触し、そのまま立ち去ったというものです。目撃者はいましたが、暗い時間のこともあり加害者の特定はできず、今に至っています。このような場合、サポート会員自身の自動車保険で対応することになります。

事故に遭った時は、例えどんな小さな事故でも連絡してください

事故の後処理に専念できるよう、その日のサポートはスタッフが引き継ぎます

① 警察に電話 110

② ファミサポに電話 0287-47-6252

(開所時間外は留守番電話に緊急連絡先の番号がアナウンスされます)

誰かがケガをするというような大きな事故でなくても、もし自分がそのような状況に遭遇してしまったら、決して良い気分ではられないでしょう。

今、送迎サポートが大変多い状況で、会員自身がどんなに気を付けていても今回のようなもらい事故が今後も起こることは充分考えられます。サポート会員にはわずかな報酬があるとはいえ、このようなリスクもある中で活動していただいているということを、利用している方にも是非知っておいていただきたいと思います。